

総評

本ロゴマークは、2025年（令和7年）5月に福山市において開催する第20回世界バラ会議福山大会及び（仮称）Rose Expo（以下、「大会」という。）のシンボルとし、大会の開催機運を高めるために全国から募集しました。多くのご応募をいただき、感謝申し上げます。

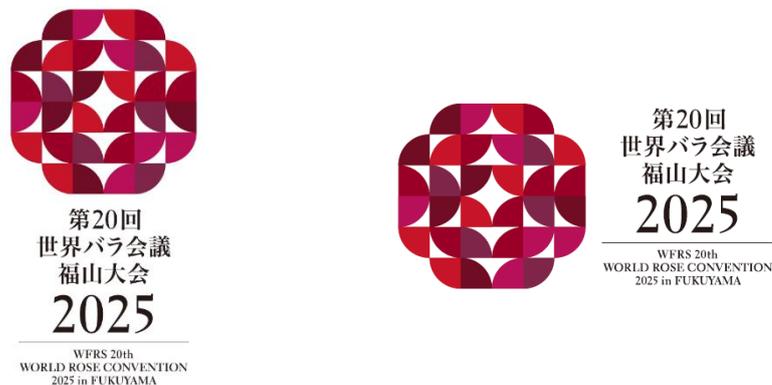
2020年（令和2年）9月17日から募集を開始し、同年10月30日の募集終了までに36都道府県から302作品の応募がありました。選定にあたっては専門家の皆様にご意見をいただき、候補作品3作品を選出しました。

候補作品3作品について、インターネット及び投票用紙による投票を行いました。

選考では、以下の点を重視しました。

- (1) 大会の基本方針及び基本計画などを踏まえたデザインであるか。
- (2) 世界バラ会議らしさや世界に誇れるばらのまち福山を感じさせるデザインであるか。
- (3) 汎用性に優れ、さまざまな場面において活用（展開）しやすいデザインであるか。
- (4) カラーだけでなく、モノクロや拡大・縮小で再現してもイメージの変化が少ないデザインであるか。

一般投票の結果、東京都在住の増田豊さんの作品が最多得票数を獲得し、最優秀賞作品に選出されました。



作品のコンセプトは

「様々な色の花びらが中心に向かって集結し、ひとつのばらを形作っている。これは“ばらのまち福山”に世界の人々が集うことを表している。シンプルな円弧のパーツが組み合わさった様は日本の伝統工芸を思わせ、この地でバラ会議が行われる意義を印象付ける。」
です。

一般投票では、市内外の方から

- ・ばらの図案が独創的でカッコいい。
- ・グッズやまちなかで目をひくデザインで、使い続けたいと思えるから。
- ・ばらをテーマに世界から集まるところが良い。

などの意見があり、最多の1,547票（投票総数4,233票）を獲得しました。

この度、全国から 302 作品もの多くの応募をいただきました皆様に、改めて感謝を申し上げます。どの作品も「ばら」や「世界」をモチーフに応募者の創意工夫がなされた作品でした。一般投票を行った候補作品 3 作品については、ばらに対するアプローチがそれぞれ独特で際立っており、3 作品とも非常に評価の高い作品でした。その中でも今回最優秀賞作品に選ばれた増田さんの作品は、今までのばらのマークとは異なる、シンボリックで多様性を感じさせるデザインやグッズ等への展開のしやすさが高く評価され、また、市内外の皆さんからも多くの支持をいただきました。今後はロゴマークを活用し、様々な媒体で世界バラ会議の PR を実施してまいります。

世界バラ会議福山大会のコンセプトは「みんなで創る」「みんなで盛り上げる」「みんなで輝く」です。投票してくださった皆さんと共に、世界バラ会議福山大会を創り上げてまいります。

2021 年（令和 3 年）2 月 15 日
世界バラ会議福山大会実行委員会